

◆塩竈市国民健康保険 第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画（概要版）◆

1. 計画の趣旨

【背景・目的・計画期間】

●データヘルス計画

国が定める指針に基づき、健康・医療情報を活用し、保健事業を実施するための計画を策定する。また、PDCAサイクルに沿った保健事業の実施・評価・改善等を行う。

●特定健康診査等実施計画

高齢者の医療の確保に関する法律第19条に基づき、特定健診及び特定保健指導等の実施方法や目標に関する基本的な事項を定める。

※両計画は、被保険者の健康増進や医療費の適正化を目的としており、相互に関連させることで、より効率的かつ効果的な実施となることから、現計画と同様に一体的に策定を行う。また、計画期間は、令和6年度～令和11年度の6年間とする。

2. 健康・医療情報などの分析と課題

【人口・被保険者数】

- 令和4年度の人口は52,296人で年々減少しており、今後も減少する見通し。
- 令和4年度の被保険者数は10,458人で、平成30年度より1,181人減少している。
- 令和4年度の被保険者の平均年齢は55.5歳で、年々上昇している。

【平均寿命・平均自立期間・死因別割合】

- 令和4年度の男性の平均寿命80.7年、平均自立期間79.4年 差1.3年(国:1.6年)
" 女性の " 87.4年、 " 84.5年 差2.9年(国:3.4年)
- 死因別割合は、県・国と比較し、「がん」「腎不全」が高いが、「自殺」は低い。

【医療費の分析】

- 平成30年度からみて被保険者は減少傾向にあるが、被保険者一人当たりの年間医療費は増加傾向にある。
- 令和4年度の生活習慣病関連疾患の医療費は、糖尿病と腎不全だけで半分以上を占めている。次いで、高血圧性疾患、脂質異常症の順で医療費が高額となっている。生活習慣病の重症化を予防し、医療費の抑制につながる取組が引き続き必要である。
- 令和4年度の人工透析患者の割合は県や国よりも高い。
- 歯周病と全身疾患(糖尿病等)の関連性があるため、歯周疾患予防対策が必要である。

【特定健康診査・特定保健指導の分析】

- 平成30年度から令和4年度までの特定健康診査受診率は、国より高いものの、いずれの年も県の受診率には届いていない。
- 令和4年度の動機付け支援及び積極的支援対象者の割合は、県・国よりも高いが、特定保健指導の実施率は大きく下回っていることから、特定保健指導実施率を向上させる取組が重要である。

3. 現状の主な健康課題

以下は、分析結果と現計画の最終評価から『生活習慣病』、『がん』、『医療費、受診行動』に分類して、健康課題を整理したものである。

A	生活習慣病	・透析にかかる医療費は高額。疾病別患者数では過去3年連続で高血圧性疾患の次に糖尿病が多い。 ・メタボ該当者および予備群が多く、循環器系の疾患(動脈硬化、心疾患、脳血管疾患)がある方も多い。
B	がん	・5大がん検診(大腸がん、胃がん、肺がん、乳がん、子宮がん)が目標受診率に届いていない。 ・がんによる死亡率は県や国よりも高い。
C	医療費、受診行動	・ジェネリック医薬品普及率が84.81%(令和4年度)であり、国の目標値は達成している。 ・重複・頻回受診・重複服薬の指導対象者は116人、薬剤併用禁忌対象者は127人である。

4. 次期計画の全体

【計画の全体目的】 「被保険者の健康維持増進」及び「医療費適正化」

5. 個別保健事業(全9事業)

	事業名	評価指標	令和8年度	令和11年度
A-①	特定健康診査事業※	特定健診受診率(法定報告値)	51%	60%
A-②	特定保健指導事業※	特定保健指導対象者の減少率	22%	25%
A-③	特定健康診査未受診者対策事業	対象者の追加健診受診率	10%	14%
		みなし健診受診者数	50人	50人
A-④	人間ドック・脳検診費用助成事業	人間ドック受診率	31.5%	36%
		脳検診受診率	24%	27%
A-⑤	糖尿病性腎症重症化予防事業 ①医療機関受診勧奨 ②保健指導	①受診勧奨後の医療機関受診率	93%	96%
		②指導完了者の生活習慣改善率(食生活、運動習慣)	70%	70%
		②事業参加者の人工透析導入者数	0人	0人
A-⑥	歯周病検診事業(国保助成事業)【新規】	歯周病検診受診率	8.5%	10%
B-①	がん検診事業(国保助成事業)	精密検査受診率	90%	90%
C-①	受診行動適正化指導 ・薬剤併用禁忌防止事業 ①受診行動適正化指導 ②薬剤併用禁忌防止	①対象者の受診行動適正化率	80%	80%
		①指導対象者数	重複服薬13人 頻回受診6人	重複服薬10人 頻回受診3人
		②対象者数前年比	10%減	10%減
C-②	ジェネリック医薬品差額通知事業	切替率	25%	25%

※第4期特定健康診査等実施計画 該当事業

6. その他

- データヘルス計画の評価・見直し
毎年度、計画に定めた指標に沿って事業効果を把握する。また、計画期間の中間地点の評価により見直しを行う。